

新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の対応を踏まえ 新興感染症等に備えましょう

人から人に伝染する能力を有するウイルスであって、多くの方が免疫を獲得していないことから、全国的かつ急速なまん延により国民の生命及び健康に重大な影響を与えるおそれのある感染症です。

新興感染症等を想定した事業継続計画(BCP)の策定

＜新興感染症等によるパンデミック(世界的大流行)が起きると・・・＞

新興感染症等によるパンデミック
(世界的大流行)

【海外】
世界各国で
ロックダウン

【国内】
外出自粛制限
緊急事態宣言等

影響



事業者におけるリスク

- ・営業活動の縮小
- ・客の減少(外出自粛要請等の影響)
- ・サプライチェーンへの影響
- ・感染防止対策に伴うコスト増
- ・従業員の欠勤

新興感染症等が流行すると大多数の事業者が影響を受ける恐れがあります。

できる限り感染拡大による影響を最小限にするため

新興感染症等を想定した事業継続計画(BCP)の策定と準備をお願いいたします。

※BCPの策定については、「事業者・職場における新型インフルエンザ等対策ガイドライン」をご参照ください。
(URL: https://www.caicm.go.jp/action/plan/guideline/files/guidelines_12_1.pdf)

日常に取り入れやすい感染症対策



有症状時は、マスク着用や
出勤を控える等の対応を

発熱や咳などの症状があれば、
マスクの着用を含む咳エチケットのほか、
従業員の方が発熱などの
症状がある場合には、出勤を控えるよう
推奨しましょう。



マスク・消毒液等の
備蓄

感染症の発生に備えて、
マスクや消毒薬など
衛生用品を備蓄しましょう。



©2014 大阪府もずやん

テレワークや
オンライン会議等の導入

感染症流行時に
感染拡大防止に取り組みながら
事業を継続できるよう
テレワークやオンライン会議等の
導入を進めましょう。